

令和6年安曇野市議会 9月定例会

討 論 発 言 通 告 書

令和6年9月27日
安 曇 野 市 議 会

提出順	/	発言順	/	令和 6 年 9 月 24 日
				午前 午後 9 時 36 分受領

(2 枚中No. /)

令和 6 年 9 月 24 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

討 論 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)
議案番号等	<input checked="" type="checkbox"/> 議案 <input type="checkbox"/> 議員提出 <input type="checkbox"/> 請願 <input type="checkbox"/> 陳情 <input type="checkbox"/> その他 第 73 号
議案名等	令和 6 年度安曇野市一般会計補正予算 (第 3 号)
賛成・反対の別	<input type="checkbox"/> 賛 成 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 反 対

討論内容 (具体的に記載してください)

- ・新型コロナワクチンの定期接種化にともなう予算や、北部学校給食センターの設備修繕費の予備費充用のあり方に問題があるので、反対する。

提出順	/	発言順	2	令和 6 年 9 月 24 日
				午前・午後 9 時 36 分受領

(2 枚中No. 2)

令和 6 年 9 月 24 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

討 論 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)
議案番号等	<input checked="" type="checkbox"/> 議案 <input type="checkbox"/> 議員提出 <input type="checkbox"/> 請願 <input type="checkbox"/> 陳情 <input type="checkbox"/> その他 第 81 号
議案名等	令和 5 年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について
賛成・反対の別	<input type="checkbox"/> 賛 成 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 反 対

討論内容 (具体的に記載してください)

- ・マイナンバー制度や、新型コロナウイルス感染症への対応など、地方自治体が国に従属するかのよ
うに流されてしまい、市民を守る自治体としての責任を自覚した姿勢が見えないので、決
算認定に反対する。

提出順	3	発言順	3	令和 6 年 9 月 24 日
				午前・午後 3 時 30 分受領

(1 枚中No. 1)

2024年 9月24日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

討 論 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)
議案番号等	■議案 □議員提出 □請願 □陳情 □その他 第 8 1 号
議案名等	令和 5 年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について
賛成・反対の別	□賛 成 ・ ■反 対
討論内容 (具体的に記載してください)	
2点の理由から反対する。	
第 1 点 2 款 1 項 1 目一般管理費の平和推進事業および 3 款 1 項 1 目社会福祉総務費の戦没者追悼式について。	
平和推進事業における「広島平和記念式典参加事業」には反対しないが、令和 4 年度まで行われていた「平和と人権のつどい」をなくしたこと、戦没者追悼式をしなかったことは、平和事業の大きな後退である。	
1 つに、唯一の戦争被爆国として、原爆による被害を強調しすぎることはないが、広島・長崎の原爆被害は、戦争全体の中に位置付けるべきものである。	
2 つに、戦争の中から原爆被害だけを取り出しての平和推進事業は、戦争に反対し、平和を願う市民に広く参加を呼び掛ける上で、参加する市民を狭めることになる。	
3 つに、遺族会の意向を尊重するとともに、全市民的な立場に立って戦没者追悼式を実施してこそ、すべての戦没者を追悼することになる。	
第 2 点 2 款 3 項 1 目戸籍住民基本台帳管理費のマイナカード交付事業。	
もともと、「共通番号」の導入を求めてきたのは、財界である。行政のデジタル化は、所得や資産、医療、教育など膨大なデータを政府に集中し、国家による個人情報の管理を進めるものであり、分散管理により保護を図ってきた個人情報を危険にさらすものに変えてきた。	
マイナンバー制度の「公平・公正な負担と給付」によって、大企業の優遇税制は聖域としたまま、国民には負担増を押し付け、消費税は社会保障には回されず、大企業減税の原資となっただけである。	
「デジタル改革」は、行政保有のデータを企業に開放し、「儲けのタネ」として企業の利益につなげるための「改革」であり、プライバシー権の侵害、利益誘導・官民癒着の拡大、行政の住民サービスの後退をもたらすものである。その一環として進められてきたマイナンバーカード等の普及である。	

提出順	2	発言順	4	令和 6 年 9 月 24 日 午前・午後 9 時 44 分受領
-----	---	-----	---	-------------------------------------

(/ 枚中No. /)

2024年 9月 24日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 猪 狩 久美子

討 論 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)
議案番号等	■議案 □議員提出 □請願 □陳情 □その他 第 96 号
議案名等	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
賛成・反対の別	□賛 成 ・ ■反 対
討論内容 (具体的に記載してください) マイナンバーカードの取得はマイナンバー法で任意取得の原則をとっている。 全国 18 の地方紙が合同で行ったマイナ保険証に関するアンケートでは、8 割が現行の保険証を残してほしい、との回答だった。また、医療現場での不安も払しょくされていない、という状況下で現行保険証を廃止することには反対する。 こうしたことから、長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更についても反対する。	